



STOP! 転倒災害

プロジェクト



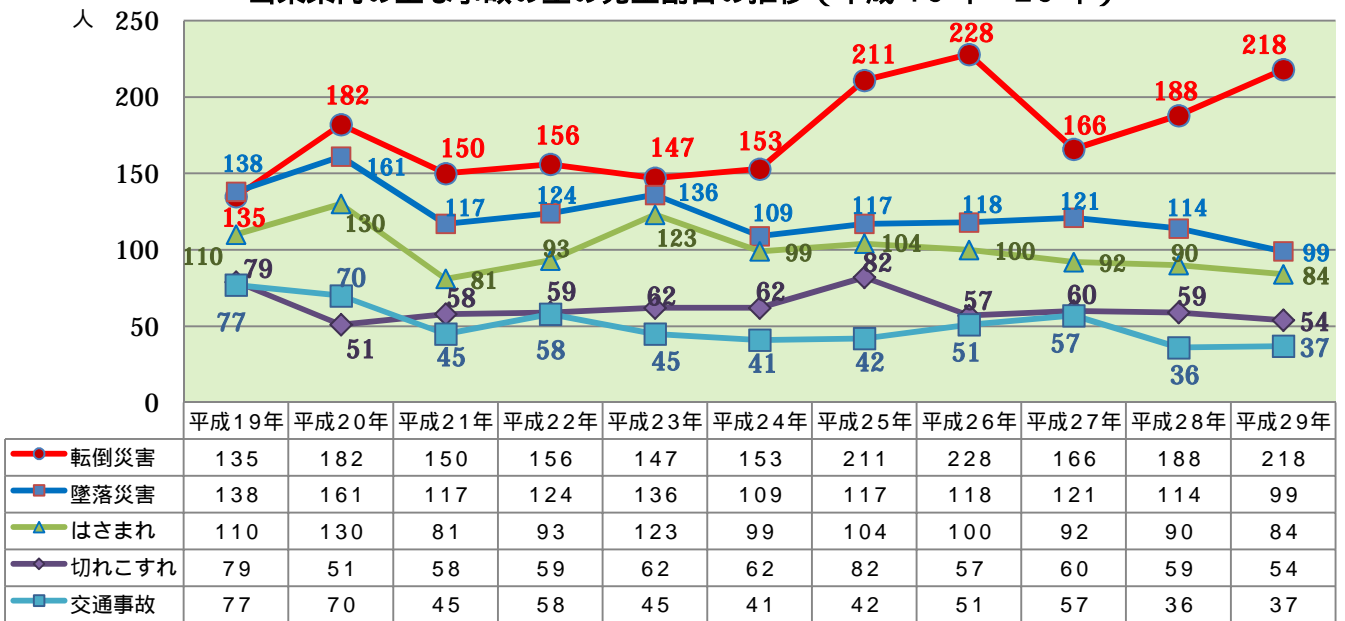
山梨労働局では、「STOP! 転倒災害プロジェクト」に取り組んでいます!

山梨県内の休業4日以上死傷災害は、平成20年以降、「転倒災害」がトップを占める状況が続いており、平成26年には全死傷災害中228人と、過去最高となりました。

平成27年1月から、「STOP! 転倒災害プロジェクト2015」に取り組んだこと等により、平成27年には166人と減少したものの、平成29年には726人中218人となり、死傷災害全体に占める割合が30%を越え、労働災害で負傷した人の約3人に1人が「転倒」となっています。

2018年度を初年度として展開される「山梨第13次労働災害防止計画」の目標である死傷災害の減少に向けては、「転倒災害」の大幅な減少が重要となることから、各事業場においては、職場の転倒災害防止対策を進めていただくとともに、プロジェクトの重点取組期間(2月、6月)には、裏面のチェックリストを活用した総点検を行い、職場環境等の改善を図ってください。

山梨県内の主な事故の型の発生割合の推移(平成19年~29年)



▶ 職場でこんなことありませんか?



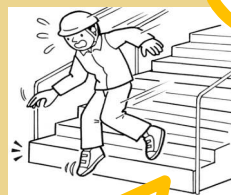
床が水で濡れていて滑った!!



梱包用のバンドに引っかかって転んだ!!



雨の日に滑って転んだ!!



階段を踏み外した!!






電源コードに引っかかって転んだ!!

▶ 工作中なら、これらは全て労働災害です!

転倒災害防止対策のポイント

▶転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

4S (整理・整頓・清掃・清潔)	転倒しにくい作業方法 「あせらない急ぐときほど 落ち着いて」	その他の対策
<ul style="list-style-type: none"> 歩行場所に物を放置しない 床面の汚れ（水、油、粉など）を取り除く 床面の凹凸、段差などの解消 	<ul style="list-style-type: none"> 時間に余裕を持って行動 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行 足元が見えにくい状態で作業しない 	<ul style="list-style-type: none"> 作業に適した靴の着用 職場の危険マップの作成による危険情報の共有 転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起 

あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合しましょう！

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！
「STOP！転倒災害プロジェクト」

STOP！ 転倒

検索